

入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成25年3月6日)

開催日及び場所		平成25年2月27日(水曜日)2階第一会議室		
委員		高木 聡廣 (弁護士) 星野 誠之 (公認会計士) 真崎 俊男 (NHK熊本放送局副局長)		
審議対象期間		平成24年10月1日～平成24年12月31日		
審議対象案件		242件うち、1者応札案件54件 契約の相手方が公益社団法人等の案件3件		
抽出案件		20件うち、1者応札案件9件 (抽出率8%) (抽出率17%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件 (抽出率67%)		
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		5件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争	公募型指名競争	0件
			工事希望型競争	0件
			その他の指名競争	0件
		随意契約		0件
	業務	一般競争		5件うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件
		指名競争	公募型競争	0件
			簡易公募型競争	0件
			その他の指名競争	0件
		随意契約	公募型プロポーザル	0件
			簡易公募型プロポーザル	0件
			標準型プロポーザル	0件
			その他の随意契約	0件
	物品・ 役務 等	一般競争		9件うち、1者応札案件7件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争		0件
		随意契約(企画競争・公募)		0件
		随意契約(その他)		1件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
	(特記事項)			

各委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答等
	<p>① 布団かごとはどのようなものか。</p> <p>② 屋久島署の林道工事の入札参加者は島内の者か。県外からの入札参加者がいる場合はあるのか。</p> <p>③ 建設コンサルタント等業務（林道調査設計）の設計金額は延長に比例するのか。</p> <p>④ 総合評価落札方式の技術評価点は、同じ会社でも案件によって違うのか。</p> <p>⑤ 入札筆記書で落札者以外には順位を記載していないのはなぜか。</p> <p>⑥ 建設コンサルタント等業務で入札参加者が少なかったのはなぜか。</p> <p>⑦ 入札経緯及び結果の説明資料で落札者の等級が記載されていないのはなぜか。</p> <p>⑧ 予定価格の事前公表は行っていないのか。</p> <p>⑨ 造林事業で2回目の入札で落札している案件があり、予定価格に近い入札額となっているがなぜか。このような場合には入札を行った署へ予定価格が漏れていなかったか確認してはどうか。</p>	<p>① 鉄線などを用いかごを作り、碎石を詰め込んだもの。</p> <p>② 島内の者である。県外からの入札参加者はいない。</p> <p>③ 基本的に延長に比例する。</p> <p>④ 同じ会社でも案件によって違う。</p> <p>⑤ 入札額が予定価格を超えている場合には、順位付けをしないため記載していない。</p> <p>⑥ 梅雨災害によって、県等から多くの事業を受注していると考えられる。</p> <p>⑦ 競争参加資格で参加等級を定めていないものは記載していない。</p> <p>⑧ 予定価格の事前公表は行っていない。</p> <p>⑨ 本事業は、造林事業と獣害防止ネット設置作業がセットになったものであり、造林事業については過去の受注実績等で入札額は計算できると思うが、獣害防止ネット設置作業をどの程度見積もるかにより入札額は変わってくると思われる。1回目で高く見積もっていたため、2回目は下げた結果、たまたま予定価格に近い金額になったと思われる。なお、予定価格の件については、発注者綱紀保持に関する報告は署からないが、注視していきたい。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	なし	なし